



初代「させぼ観光大使」が市長を訪問

7月19日、初代「させぼ観光大使」となった野見山理美さん(させぼパール・シー、左)と諸岡なほ子さん(主婦、右)が朝長市長を表敬訪問。市長は「佐世保は観光立市であり、お二人の使命は非常に重要。初代観光大使として頑張ってほしい」と激励。「海さらら」で魚の飼育員を務める野見山さんは「九十九島など佐世保ならではの魅力を全国に広めたい」、市政広報テレビ番組のレポーターなどとして活躍中の諸岡さんは「観光名所だけでなく、地元の人しか知らない穴場も紹介したい」と抱負を述べました。

アーチェリー! 空手道! トレイル・オリエンテーリング! 佐世保から世界大会へ



8月1日、来年のロンドン五輪(アーチェリー競技)に初出場を決めた早川漣さん(佐世保商業高校スポーツ専門員、写真)や全日本ナショナルチーム強化選手の西村義貴さん、同コーチの金相勲さんなどが市役所を訪問し、市長に健闘を誓いました。

第12回船越義珍杯世界空手道選手権大会(8月18~19日、タイ)女子組手小学3年の部に出場する中山咲季さん(赤崎小3年)が市役所を訪問。「大会はとても楽しみ。頑張ってきます」と市長に意気込みを語りました。

8月1日、世界トレイル・オリエンテーリング選手権大会(8月15~18日、フランス)パラリンピック部門に2年連続で出場する森長三さんが市役所を訪問。市長に「今回こそは優勝したい」と大会に向けた抱負を語りました。



1 7月22日、米海軍佐世保基地のフランシス・マーティン司令官が朝長市長に離任のあいさつをするため、市役所を訪れました。司令官は「佐世保基地は地元との関係がとても良好でした。いつまでも忘れません」と話し、「絆」の文字が入った記念のプレートを市長に贈りました。

2 山澄中の高橋翼大さん(3年、左から2番目)、松尾翔一朗さん(2年、右)、三浦優花さん(2年、左)が、姉妹都市であるオーストラリア・コフスハーバー市との交流事業で同市へ派遣(8月3~12日)されることになり、市長を表敬訪問しました。

3 平成21年6月から2年間、日系社会青年ボランティアとしてブラジルに派遣されていた大浦美香さんが帰国し、7月15日、朝長市長を訪れました。日本語教師としてモジ市のピンドラマ日本語学校に配属されていた大浦さんは、現地での活動内容などを市長へ報告しました。

4 7月29日、日本ATM株式会社(本社東京都港区)の九州初となる自営センター「佐世保ATMオペレーションセンター」(浜田町)の開所式が行われました。同センターでは当初60人を雇用し、2年後には200人の雇用が見込まれています。

小学生女子ソフトボール全国大会出場!



「第25回全日本小学生女子ソフトボール大会」(7月30日~8月2日、三重県熊野市)の出場報告のため、教育長(右)を表敬訪問した佐世保ひまわりソフトボール部の皆さん

小学生男子ソフトボール九州大会出場!



「第31回九州ブロックスポーツ少年団ソフトボール交流大会」(8月5~7日、佐賀県武雄市)の出場報告のため、教育長を表敬訪問した春日小ジュニアの皆さん

